

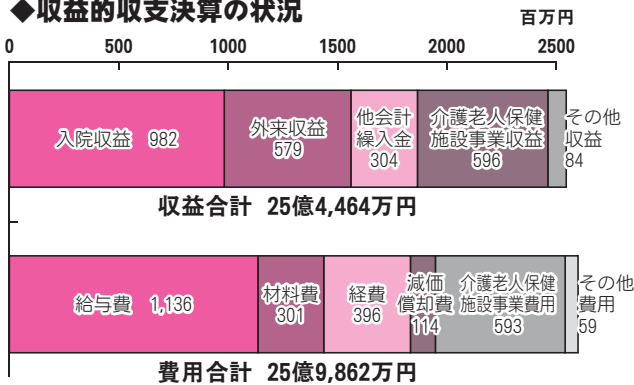
平成21年度 匠瑳市病院事業の決算状況



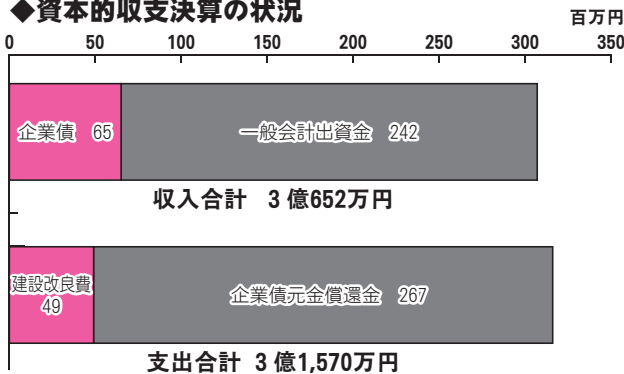
1 決算の概要

恒常的な医師不足と、平成21年度では特に看護師不足から一部病棟を休止した結果、入院患者数が減少しました。この結果、一般会計から2億1,769万円の基準外繰り入れを行い、5,398万円の赤字にとどまりました。

◆収益的収支決算の状況



◆資本的収支決算の状況



※平成21年度で購入した主な医療機器

高圧蒸気滅菌装置 (1,076万円)、超音波診断装置 (622万円)、眼底カメラ一式 (441万円)、外科用X線テレビ装置 (437万円)

2 患者数の状況

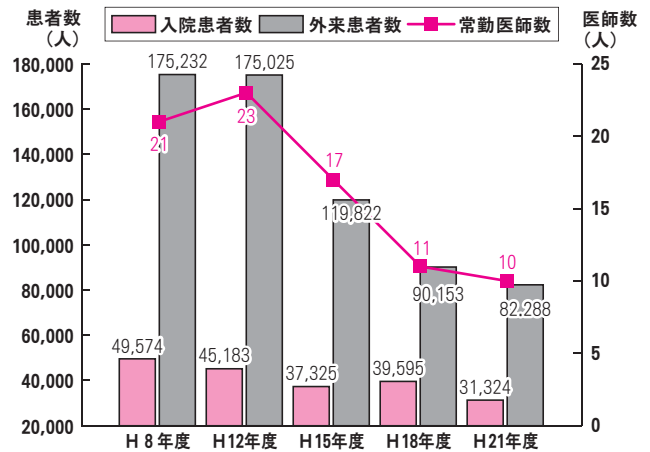
入院患者数が前年度に対して6.7%減の31,324人、外来患者数が、2.0%増の82,288人となりました。

◆入院・外来患者数の状況

(単位：人、%)

	21年度		20年度		増減	
	延患者数	1日平均	延患者数	1日平均	延患者数	増減率
入院	31,324	85.8	33,581	92.0	▲2,257	▲6.7
外来	82,288	340.0	80,669	332.0	1,619	2.0

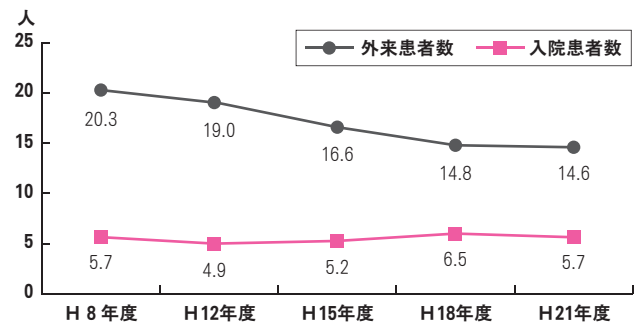
◆患者数および医師数の推移



3 医師1人当たりの患者数

医師1人当たりの患者数は、入院患者数は大きな変動はありませんが、外来患者数では、平成8年度の20.3人に対して、平成21年度では14.6人となっています。

◆医師1人当たりの患者数の推移

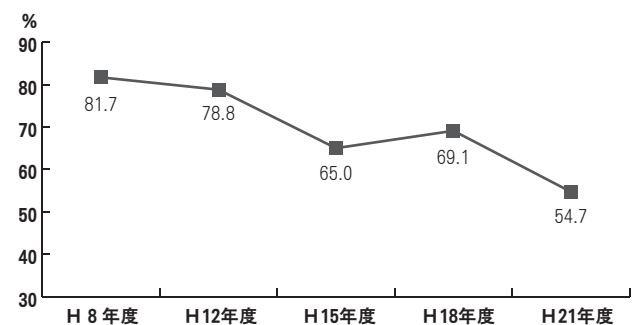


※医師1人当たり患者数…1日平均患者数÷医師数

4 病床利用率の推移

病床利用率は、最も経営状況が良かった平成8年度では、81.7%でしたが、平成21年度は54.7%と27ポイントの減少となりました。

◆病床利用率の推移



※病床利用率…年間延入院患者数÷年間延病床数

病院経営は、依然として厳しい状況となっていますが、地域住民の皆様が安心して医療を受けることができるよう診療機能の充実を図り、信頼される病院となるため、今後とも職員の資質の向上と経営の健全化に努めます。

問 市民病院 ☎72-1525